

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2023年12月17日(9:30~10:30)

1. 初期支援(はじめのかかわり)

メンバー 菅、小室、橋本、和知、北村、高岡、小竹、片野、権田、集貝

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	11	3	0	0	14

前回の改善計画	・経過記録の備考欄を活用し、新たな情報や、特変等をスタッフ全員で共有できるようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	・経過記録の備考欄にバイタル、特変を記入することにより健康面の把握をしやすくした。 ・多くのスタッフが書くことにより多角的な視点でとらえることができた

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	12	2	0	0	14
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	12	2	0	0	14
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	13	1	0	0	14
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	11	3	0	0	14

できている点	・利用開始前の情報はミーティングや情報シートによりスタッフ間での共有に努めた。急な利用開始の場合にも、朝の打ち合わせの時間を使って情報を共有した。 ・サービス利用時は支援内容を本人や家族と相談して優先順位を決めている。例えば、清潔保持ができていない方には、短時間の通いサービス利用時に入浴を実施した。 ・本人が慣れていない時期は「本人に負担が少ないように」を一番に考えて家族の理解と協力を得る努力をしている。 ・利用開始からサービスに慣れるまでは家族・介護者と密に連絡を取るようになっている。まずは何に困っているのか、何が心配なのか、大変と思っているのかを聞くように傾聴から始めている。 ・新しい利用者について、スタッフが間に入り、座る席や食事席、部屋など考慮し調整できている。 ・中々通所できない利用者にも声かけや訪問で慣れてもらいながら無理なく通所できるように配慮していた。
--------	--

できていない点	・備考欄が設けられている意味や具体的に何を書くかなどが入職したばかりのスタッフに伝えられていなかった。 ・新規の利用者との関係づくりを意識しての関わりが苦手なスタッフがいる。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	・新規の利用者はスタッフ全員が情報記入用のアセスメントシートに知り得た情報を追加記入して情報を共有する。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2023年12月17日(9:30~10:30)

2. 「～したい」の実現(自己実現の尊重)

メンバー 菅、小室、橋本、和知、北村、高岡、小竹、片野、権田、集貝

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	5	9	0	0	14

前回の改善計画	・早い段階から本人の「～したい」を引き出せるようにスタッフ全員が意識し記録用紙を作って実践する。
前回の改善計画に対する取組み結果	・日々の記録に本人のしたいこと、希望につながるような発言や行動を意識して記入している。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?	8	6	0	0	14
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	8	6	0	0	14
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	9	5	0	0	14
④	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	11	3	0	0	14

できている点	・日々の関わりの中から必要な情報を得、「～したい」を理解しミーティングなどで共有している。 ・本人や家族から聞き取った内容をまとめた書面や計画書等は回覧されているため、全員に早く情報を共有されている。 ・計画作成が本人、家族から聴いたことを基に目標を明確にしている。 ・本人が安心して過ごせるようなかかわり方をミーティングで意見を出し合い実践した。 ・不安等の認知症状はすぐに対応し、その結果を朝の申し送りや振り返りで共有し次につなげた。
--------	---

できていない点	・本人の目標「～したい」の意思確認がはっきりできない場合、家族のニーズに応える支援になっている。 ・例えば散歩に行きたい、みんなと仲良くおしゃべりしたいというような「したい」ことが他のケアに追われ、わかっても実践できないことがある。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	・スタッフが利用者から聞いた「～したい」を容易に記載できる用紙を作成し共有していく。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2023年12月17日(9:30~10:30)

3. 日常生活の支援

メンバー 菅、小室、橋本、和知、北村、高岡、小竹、片野、権田、集貝

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	8	6	0	0	14

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・「こんな人ですシート」を回覧、スタッフが順番に書きこんでいく形式で作成して、これまでの生活を継続できるような支援に繋げる。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者を知るために「こんな人ですシート」を作成し利用者の生活歴を知ることができた。又知ろうとするモチベーションにつながった。利用開始間もない利用者にも行うと理解が深められる。有効と思われるので活用したい。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	6	8	0	0	14
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	11	3	0	0	14
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	11	3	0	0	14
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	12	2	0	0	14
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	12	2	0	0	14

できている点	<ul style="list-style-type: none"> ・こんな人ですシートを作成することで生活歴を把握することができた。 ・朝の送迎時や自宅での様子、家族から聞きとったこと、独居の場合はエアコン、水分、食事の状況などをスタッフ間で共有しその日のケアに役立てることができている。 ・本人に合わせた食事の形状や必要な食事介助や、入浴も無理せずシャワー浴や足浴にしたり、陰洗を行ったり基礎的な介護はできている。 ・月に二回のミーティング開催で利用者について話し合っている。例えば医師の所見、PTから有効なストレッチなどの機能訓練を聞き共有した。 ・本人、家族、近隣、室内外など本人にかかわる環境等の変化を記録しミーティング等で共有している。 ・本人の状況に合わせた介護ができている。それにはその人を“知る”ことから始め、職員全体で共有している。また変化についても同様に共有し気持ちや体調に沿った支援ができている。 ・ミーティングや申し送りでも共有された本人の気持ちや体調の変化に合わせてすぐに対応している。
--------	---

できていない点	<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフ各々の知識や経験値の違いにより、基礎的な介護の技術に差がある。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフがお互いに入浴や排泄などの介助の仕方を見合い、振り返り質の向上を目指す。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2023年12月17日(9:30~10:30)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 菅、小室、橋本、和知、北村、高岡、小竹、片野、権田、集貝

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	10	4	0	0	14

前回の改善計画	・まどかで避難訓練と消火器の使い方講習を行う。そしてそれを地域住民へ周知し参加を呼びかけ、利用者に地域との交流の機会をつくる。
前回の改善計画に対する取組み結果	・地域交流の機会として3月に地域住民、運営推進委員に参加を呼びかけ、消防訓練を実施したが参加はなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	10	4	0	0	14
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	11	3	0	0	14
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	7	7	0	0	14
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	8	6	0	0	14

できている点	<ul style="list-style-type: none">・特に利用開始時にはこれまでの生活について理解する努力し共有している。・これまでの生活スタイルや人間関係は本人や家族との会話の中で把握することができている。Hさん Kさん Eさんの若い頃の関係の継続は所々で(認知症を患ったことによる記憶の欠落)支援が必要と理解している。・散髪や買い物など本人の希望しているなじみの店との関係を絶たないようにしている。・近所の人とのつながりなどは会話から把握するようにしている。・本人の生活において地域との関わりを把握し、必要な地域資源を提案し活用できている。・担当者が中心となり自宅での様子を本人や家族から聞いている。そのため分からないことはすぐに担当者に聞くことにより理解を深めることができる。・地域資源についての研修などあまりなじみの無い事についても知る機会を作ることができた・ミーティング時に情報の共有ができている。・ゴミ出しの支援をご近所や知人がしてくれている。そのためふれあい収集を先延ばしにした。・地域資源を考えるミニ勉強会を行なった。本人以外は地域資源であり、それがないと生活が成り立たないことが理解できた。
--------	---

できていない点	・民生委員との連携に限られた利用者にとどまった。他の利用者についても連携するか検討すべきだった。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	・利用者の事例をあげ本人のこれまでの生活スタイルをもとに、必要な知識資源を把握する機会をもつ。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2023年12月17日(9:30~10:30)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 菅、小室、橋本、和知、北村、高岡、小竹、片野、権田、集貝

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	11	3	0	0	14

前回の改善計画	・新座市内にどのような地域資源があり、現在まどかの利用者はそれらをどのように利用しているのかをミーティングで共有し、他の利用者にも提供できるのかどうかを検討する。
前回の改善計画に対する取組み結果	・利用者の関わっている地域資源をグループワークであげ、学んだ。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	11	3	0	0	14
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	13	1	0	0	14
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	14	0	0	0	14
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	14	0	0	0	14

できている点	・利用者の希望に応じて地域の床屋へ送迎したりしている。 ・自事業所だけでなくほかのサービス(マッサージ、リハビリ、ごみ捨てなど)を活用して対応している。 ・連泊により、利用者も家族も農繁期を乗り切れた。また、家族(介護者)の入院に合わせたサービス提供ができた。 ・各利用者が様々な地域資源を活用し今の生活を継続できるようミーティングや申し送りを通して各スタッフが共有できている。 ・本人の変化については常にアンテナが張れており、気が付いたスタッフからの報告があり、それをミーティング等で共有することができている。 ・状態の不安定な利用者については、事業所よりも自宅の方がおだやかに過ごせる場合は早めの帰宅を促している。反対に脱水の恐れのある利用者については午前だけでなく午後の訪問を追加し対応した。
--------	--

できていない点	・関わっている地域資源のグループワーク(勉強会)では一人の利用者しかできなかったことで理解に不安がある。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	・地域資源のエコマップ作成を通して、事業所と地域との繋がりを学ぶ。
---------------	-----------------------------------

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2023年12月17日(9:30~10:30)

6. 連携・協働

メンバー 菅、小室、橋本、和知、北村、高岡、小竹、片野、権田、集貝

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	10	4	0	0	14

前回の改善計画	・コロナウイルス感染症対策により各種会議や行事を行う事が困難になっているが、適切な対策をとって必要な連携を行う。
前回の改善計画に対する取組み結果	・コロナウイルスが5類になり会議や行事が再開しつつある。運営推進会議もスタッフミーティングも対面で開催できた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	10	4	0	0	14
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	7	7	0	0	14
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	6	8	0	0	14
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	9	5	0	0	14

できている点	・医療との連携ではオンラインのカンファレンスが1件あった。その他医療機関でのカンファレンスは数回あり参加した。 ・認知症初期集中支援チーム員会議や認知症施策検討委員会等に出席した。 ・新座市福祉フェスティバルに3年ぶりに参加した。地域清掃にもできる限り参加した。 ・ボランティアの方が毎日のように訪れるようになった。 ・夏休み中の体験ボランティアとして中学生、高校生が来て利用者は学生との会話に笑顔が多かった。
--------	---

できていない点	・自治会や町内会の行事はまだ以前同様には行なわれていない。そのため参加はできていない。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	・夏祭りや消防訓練などの地域の行事にできる限り参加をする。
---------------	-------------------------------

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2023年12月17日(9:30~10:30)

7. 運営

メンバー 菅、小室、橋本、和知、北村、高岡、小竹、片野、権田、集貝

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	10	4	0	0	14

前回の改善計画	・ささいな事でも口頭のみならず、個人の経過記録や業務日誌の申し送りに記入する。
前回の改善計画に対する取組み結果	・改善計画に対し意識し改善できている。特に業務日誌の申し送りに対しては全スタッフが意識して記載することができるようになった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているか?	9	5	0	0	14
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	11	3	0	0	14
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	11	3	0	0	14
④	地域に必要なとされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	12	2	0	0	14

できている点	・ミーティングや申し送りで各スタッフが意見や情報を発信することで日々の運営に反映できている。 ・車のドアの開け閉めの時の大きな音が出た時の利用者への影響をスタッフ同士で指摘し、改善をすることができた。 ・利用者に対する言葉遣い(子ども扱い、フレンドリー過ぎる他)、家事の仕方などの意見や苦情がありスタッフ間で共有し改善に努めた。 ・運営推進委員から「車が邪魔で事業所に入りにくい」との意見があった。玄関前は開けるように大きい車は駐車場に移動するなど改善に努めた。 ・地域の認知症の方たちの居場所作りと相談する場の認知症カフェが再開した。 ・フードパントリーに地域の畑の野菜を提供した。新座ひまわりプロジェクトに参加した。
--------	---

できていない点	・ミーティングでの発言は担当者が中心で報告が多く、ディスカッションする時間が足りない。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	・ミーティングとは別に、特定のケアや利用者、レクリエーションなど、テーマを絞ってカンファレンス等を行ないスタッフが意見交換を試みる。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2023年12月17日(9:30~10:30)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 菅、小室、橋本、和知、北村、高岡、小竹、片野、権田、集貝

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	5	9	0	0	0

前回の改善計画	・まどかの利用者の例を用いて、成年後見人制度の事例研修を行う。
前回の改善計画に対する取組み結果	・事例の研修は今年度中に行う予定。成年後見制度を導入予定の方の進捗をミーティングで報告している。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	6	8	0	0	14
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	9	5	0	0	14
③	地域連絡会に参加していますか	9	5	0	0	14
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	10	4	0	0	14

できている点	・受講したい研修のアンケートを取り、希望に沿った研修の受講をうながしている。 ・ミーティングの時間を使いミニ勉強会を行っている。 ・コロナ禍により、集合・対面の研修はほぼなく、動画視聴にて研修を受けている。 ・資格のレベルアップ研修にはできるだけ受講を心掛けた。 ・今年度、認知症介護実践者研修に1名が受講した。 ・新座市から連絡のあった会議や研修にはほとんど参加できた。 ・運営推進会議を通して意見を聞き、質を向上する努力をしている。 ・ミーティングで考えられるリスクについて共有し再発防止策をみんなで考えた。特に転倒リスクの高い人のケア内容について意見交換し実践した。
--------	---

できていない点	・集合研修の機会は少なく参加できなかった。
---------	-----------------------

次回までの具体的な改善計画	・集合研修はできる限り参加するように研修係を中心に勤務調整をする。
---------------	-----------------------------------

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2023年12月17日(9:30~10:30)

9. 人権・プライバシー

メンバー 菅、小室、橋本、和知、北村、高岡、小竹、片野、権田、集貝

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	12	2			14

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none">人権、プライバシーの研修を通して、日々の利用者に対しての声掛け、配慮の仕方について振り返り、学ぶ機会をもつ。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none">年度代わりに職員間で守秘義務の再確認を行なっている。そのほかにも身体拘束、高齢者虐待防止について全員が研修を受けた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	14				14
②	虐待は行われていない	14				14
③	プライバシーが守られている	13	1			14
④	必要な方に成年後見制度を活用している	12	2			14
⑤	適正な個人情報の管理ができている	13	1			14

できている点	<ul style="list-style-type: none">身体拘束はなかった。来客がある場合、また他の利用者がある場合、個人が特定されないように会話の内容などを配慮した。現在成年後見人制度を利用している人はいない。利用に向け準備中の利用者1名あり。個人情報の管理について、個人ファイルや公用携帯は各スタッフが意識をもって適正に管理することができた。利用者への声掛けについては時々スタッフ間で注意し合い適切なかわり方ができるよう配慮している。
--------	---

できていない点	<ul style="list-style-type: none">日誌や経過記録などを利用者の目に触れる状態にしたままスタッフが席を離れることがあった
---------	--

次回までの具体的な改善計画	<ul style="list-style-type: none">まどかの利用者の成年後見制度利用を例に用い利用までの流れを学ぶ。
---------------	--